

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校評価の重点取組の成果指標達成のため、3つの指導部会を中心に全職員で具体的な取組を進めることができた。指導部会での検討は、会議内容の精選や時間短縮につながっている。職員分担の平準化、次年度への引継ぎにおいても効果的であったが、部長などの一部の職員に業務が偏らないよう今後も見直しをして改善を図っていく必要がある。前年度同様もしくは前年度より下回る評価もあるが、より高い目標を掲げた結果であったり、同様の評価でも取組においては前進していたりで、成果目標はおおむね達成できたと考える。</p> <p>・コロナ禍が一段落し、コミュニティスクールとして、地域の方とつくる活動にも制限なく取り組むことができるようになった。今年度は、どの学年においても学校職員だけでは実現できない教育活動を行うことができた。</p> <p>・達成度がB評価の項目については、職員で知恵を出し合いながらより高い成果が出せるように推進していきたい。</p>
2 学校教育目標	「共に学び 心豊かに たくましく 生きる」児童の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びへ向けた授業改善を図る。 ・思いやりの心や豊かな心を基盤とした学校づくりを行う。 ・特別支援教育において校内支援体制や個に応じた指導の充実を図る。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○個人の課題を設定して研修を行い、課題解決のために授業を改善することができた教師80%以上。 ○校内アンケートの「授業内容が良かった。」と答える児童80%以上。	・個人テーマの中間報告会や授業見学等を行い、授業力向上に努める。 ・全職員が「田代メソッド」等を参考に指導方法の改善・授業力の向上を図る。							学びづくり部会
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケート「ほかほか言葉を使って友達と仲良くしていますか」の質問で、80%以上の児童が肯定的な回答をする。	・人権週間や道徳の授業実践において、児童が人としての生き方を考えるきっかけとなる内容を盛り込む。 ・友だちのよいところや頑張りを見つける活動に取り組ませる。							心づくり部会
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●いじめの早期発見、早期対応について組織的対応ができていると回答した教師80%以上。	・気になる児童の様子やいじめの対応について、事例研修等を含めた研修や会議を毎学期行い、いじめに対する職員の意識や組織力を高める。							心づくり部会
	●児童生徒が目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上。 ●「目標をもって学校生活を送っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・行事や体験活動において、活動への見通しを持たせたり、キャリアパスポート等を用いて学びの振り返りを行わせたりする。 ・児童生徒の、資質・能力を育む授業づくりを行う。							心づくり部会
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」と考える児童生徒80%以上。 ●栄養のバランスが取れる食事がわかる児童80%以上。	・栄養教諭や養護教諭と連携し、望ましい食習慣と食の自己管理能力についての授業を発達段階に応じて行う。 ・食に関する関心を高めるために、献立等について給食委員会が毎日放送する。							体づくり部会
	●運動習慣の改善や定着化 ●安全に関する資質・能力の育成	○授業以外で1日に30分以上上体を動かした児童の割合が75%以上。 ○ヘルメット所持点検・防犯ブザー所持点検において、児童の着用率及び所持率90%以上。	・体育委員会でスポーツ大会などを企画する。 ・学期ごとにアンケートを実施し、集計する。その都度呼び掛け等を行う。							体づくり部会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合10%以内。	・定時退勤日を設定し守る。 ・行事や会議の精選・効率化、時間短縮を進める。 ・校務分掌の見直しを進め、職員の仕事分担の平準化を目指す。							管理職
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○毎学期、特別支援教育に関する研修会、会議等を実施する。 ○特別支援教育に関する啓発授業を含め、障害者理解やUD教育を意識した授業をした学級90%以上。	・特別支援教育に関する研修会やケース会議を通して、教員の専門性の向上を目指す。 ・学活や道徳の時間の中で、障害者理解やUD教育を行い、児童相互理解を進める。							心づくり部会
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率85%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間1回以上公開した学級率85%以上	・授業参観日における教科「日本語」の授業を全学年で公開する。 ・学級だより等を通じて教科「日本語」に関する情報を公開する。							
○開かれた学校づくり	・学校運営協議会の取組の推進 ・人と人を結ぶ「挨拶」の推進	・学校運営協議会の取組や学校の様子を毎月2～3回、学校HPで発信する。 ・児童アンケートで「挨拶を積極的にしていますか」の質問で80%以上の児童が肯定的な回答をする。	・学校運営協議会での取組を充実させ、多くの地域の教育力を学校教育へ生かす。 ・開校150周年記念事業の取組を通してさらに地域社会との連携を深める。 ・道徳や特別活動を中心に「挨拶」を課題にした授業に取り組む。							管理職 心づくり部会

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---